

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
河島農具製作所倉庫

欄にコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境					0.30			2.8
1 音環境				3.0	0.15			3.0
1.1 騒音				3.0	0.40			
1 1 階騒音レベル				3.0	1.00			
1.2 遮音				3.0	0.40			
1 開口部遮音性能				3.0	1.00			
2 界壁遮音性能				-	-			
3 界床遮音性能(軽衝撃源)				-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-			
1.3 吸音				3.0	0.20			
2 温熱環境				3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御				3.0	1.00			
1 室温設定				-	-			
2 湿度制御				-	-			
3 外皮性能				3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性				-	-			
2.2 湿度制御				-	-			
2.3 空調方式				-	-			
3 光・視環境				2.1	0.25			2.1
3.1 屋光利用				3.0	0.30			
1 屋光率				3.0	0.60			
2 方位別開口				-	-			
3 屋光利用設備				3.0	0.40			
3.2 グレア対策				1.0	0.30			
2 屋光制御				1.0	1.00			
3.3 照度				1.0	0.15			
1 照度				1.0	1.00			
3.4 照明制御				3.0	0.25			
4 空気質環境				3.4	0.25			3.4
4.1 発生源対策				3.0	0.50			
1 化学汚染物質				3.0	1.00			
4.2 換気				3.0	0.30			
1 換気量				3.0	0.50			
2 自然換気性能				-	-			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50			
4.3 運用管理				5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				-	-			
2 喫煙の制御		商品を保管する為、建物内は全面禁煙としている		5.0	1.00			
Q2 サービス性能				-	0.30			3.4
1 機能性				4.2	0.40			4.2
1.1 機能性・使いやすさ				5.0	0.60			
1 広さ・収納性		1人当たりの執務空間スペースを12㎡以上確保している		5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応				-	-			
3 バリアフリー計画				-	-			
1.2 心理性・快適性				3.0	0.40			
1 広さ感・景観		天井高さを6m以上とし、十分なひろさを確保している		5.0	0.50			
2 リフレッシュスペース				-	-			
3 内装計画				1.0	0.50			
1.3 維持管理				-	-			
1 維持管理に配慮した設計				-	-			
2 維持管理用機能の確保				-	-			
2 耐用性・信頼性				2.6	0.31			2.6
2.1 耐震・免震				3.0	0.48			
1 耐震性				3.0	0.80			
2 免震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				2.5	0.33			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23			

2.4 信頼性			1.8	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20			
3	電気設備		1.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		1.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.3	0.29			3.3
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31			
1	階高のゆとり	7m以上とし、十分なゆとりを確保している	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		-	-			
2	給排水管の更新性		-	-			
3	電気配線の更新性		3.0	0.25			
4	通信配線の更新性		3.0	0.25			
5	設備機器の更新性		3.0	0.50			
6	バックアップスペース		-	-			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40			2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.5
LR1 エネルギー				0.40			3.8
1 建物の熱負荷抑制				-			-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		省エネの照明を採用した ERR=59.2	5.0	0.43			5.0
4 効率的運用			3.0	0.29			3.0
4.1	モニタリング		-	-			
4.2	運用管理体制		3.0	1.00			
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.5
1 水資源保護			3.0	0.41			3.0
1.1 節水			-	-			
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	1.00			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00			
2	雑排水再利用システム導入の有無		-	-			
2 非再生性資源の使用量削減			-	-			2.4
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		-	-			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.28			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.28			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.34			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.59			3.9
3.1	有害物質を含まない材料の使用	使用する材料は全てF☆☆☆☆以上とした	5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.68			
1	消火剤	ハロン消火剤を使用していない。	4.0	0.50			
2	断熱材		3.0	0.50			
3	冷媒		-	-			
LR3 敷地外環境				0.30			3.0
1 地球温暖化への配慮		積極的な省エネルギー対策	4.7	0.33			4.7
2 地域環境への配慮			2.1	0.33			2.1
2.1 大気汚染防止			-	-			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.67			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.33			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.33			
2	汚水処理負荷抑制		-	-			
3	交通負荷抑制		3.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33			2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、日照阻害の抑制			2.3	0.40			
1	風害の抑制		2.0	0.70			
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			1.6	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			